

栗子トンネル(仮称)貫通式を3月22日に開催

2月5日にお知らせしたとおり、**栗子トンネル(仮称)の貫通式を3月22日10時より**トンネル坑内で開催致します。

取材等をご希望される報道機関の方は、**当日の朝9時までに受付までお越し下さい。**受付から会場までマイクロバスに乗り換えて20分程度要しますので、集合時間にご注意ください。

記

1. 式典日時：平成26年3月22日(土曜日)
貫通式：10:00～11:00頃
貫通祝賀式：11:00～12:00頃
2. 式典ならびに祝賀式会場いざかまちなかの福島県福島市飯坂町中野地内・山形県米沢市万世町刈安地内ばんせいちょうかりやす
(栗子トンネル坑内 山形県・福島県県境)
3. 主催：貫通式：清水・大豊特定建設工事共同企業体(福島側)
三井住友建設株式会社(山形側)
貫通祝賀式：福島市、米沢市、清水・大豊特定建設工事共同企業体(福島側)
三井住友建設株式会社(山形側)
4. 集合場所及び時間：当日9時までに福島側または山形側の受付にお越し下さい。場所は別紙1を参照下さい。
5. その他：式典内容等は別紙2を参照下さい。貫通式の前半(通り初めまで)は、福島県側及び山形県側それぞれの会場で実施します。

【栗子トンネルの概要】

所在：福島県福島市飯坂町中野地内いざかまちなかの～山形県米沢市万世町刈安地内ばんせいちょうかりやす
延長：8,972m
幅員：9.5m(1.25+3.5+3.5+1.25) 車線数：2車線

【発表記者会：福島県政記者クラブ、山形県政記者クラブ、福島市政記者クラブ、米沢市役所記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会】

問 い 合 わ せ 先



国土交通省

《事業に関して》

国土交通省 東北地方整備局
【福島側】福島河川国道事務所
電話024-546-4331(代)
副所長 佐藤 利美(内線205)
【山形側】山形河川国道事務所
電話023-688-8421(代)
副所長 伊藤 啓一(内線205)

《貫通式・施工内容に関して》

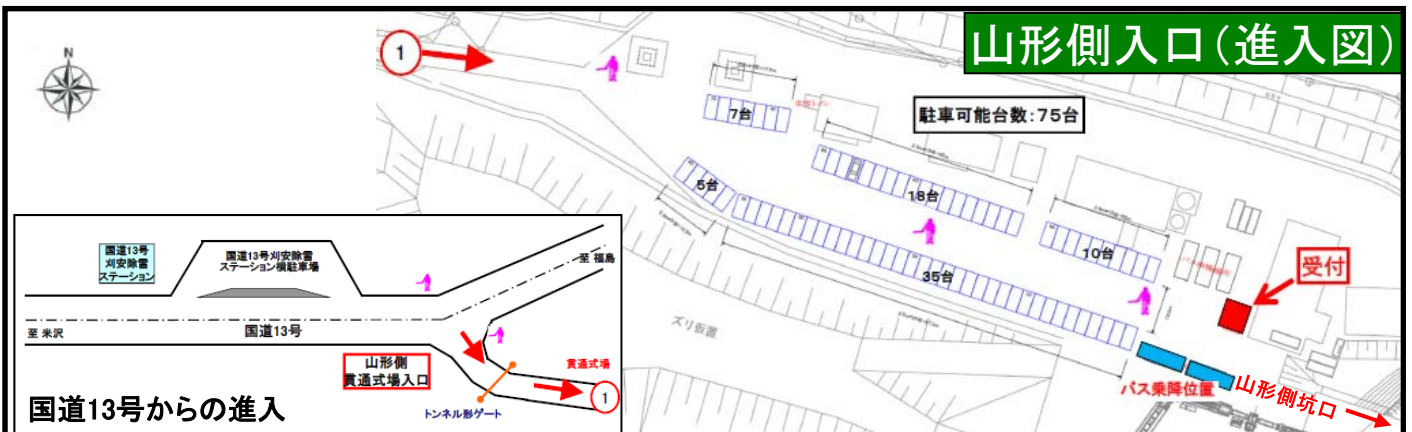
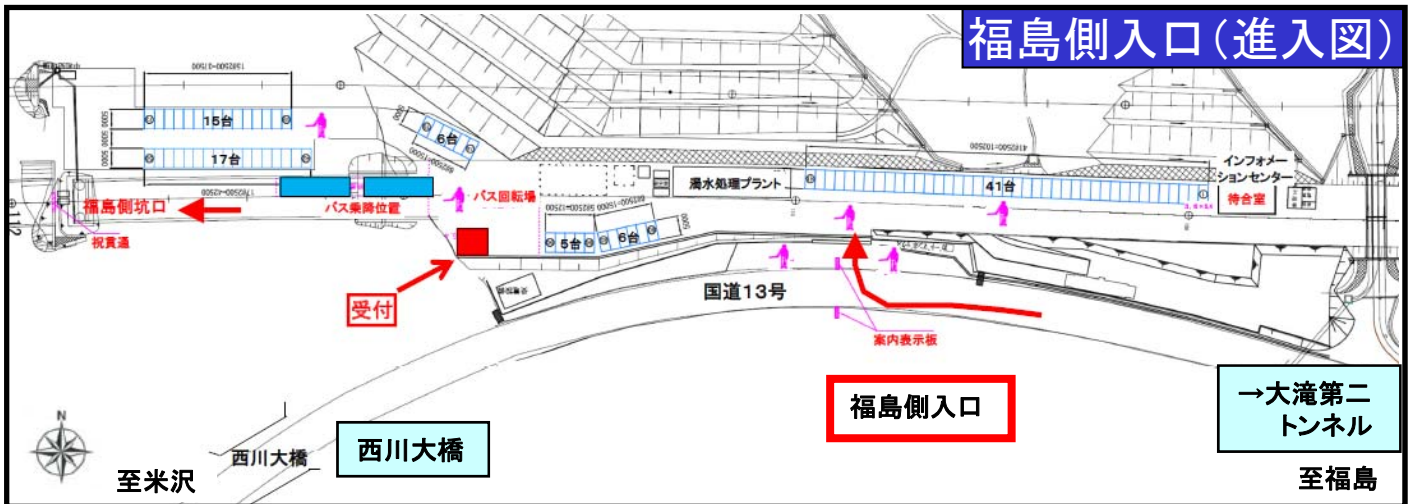
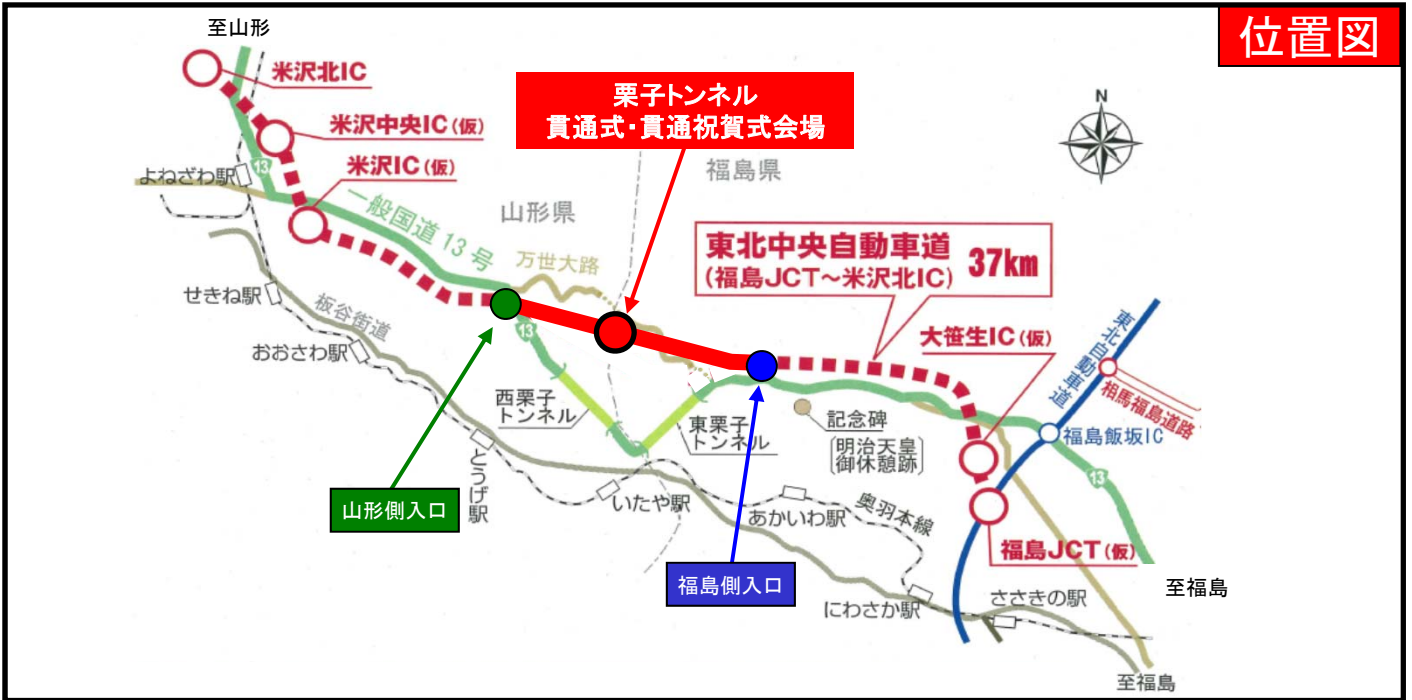
【福島側】清水・大豊特定建設工事共同企業体
電話024-529-7412
所長 新居 直人
【山形側】三井住友建設株式会社
電話0238-29-0921
所長 牛田 久雄

東北中央自動車道(福島～米沢)栗子トンネル貫通式 式典会場位置図

式典会場：栗子トンネル坑内(山形県・福島県県境)

福島側入口：福島県福島市飯坂町中野 地内

山形側入口：山形県米沢市万世町刈安 地内



栗子トンネル貫通式

日時 平成26年3月22日(土)
10:00～11:00
会場 栗子トンネル坑内(山形県・福島県県境)
主催 福島側：清水・大豊特定建設工事共同企業体
山形側：三井住友建設株式会社

次 第

- 一、開式(※)
- 一、貫通発破(※)
- 一、貫通確認・貫通報告(※)
- 一、貫通点清め
- 一、通り初め
- 一、樽神輿入場
- 一、子供樽神輿入場
- 一、施工者謝辞
- 一、閉式

(※)は、貫通点を挟み福島側と山形側で各々開催

栗子トンネル貫通祝賀式

日時 平成26年3月22日(土)
11:00～(1時間程度)
会場 栗子トンネル坑内(山形県・福島県県境)
主催 福島市、米沢市
清水・大豊特定建設工事共同企業体
三井住友建設株式会社

次 第

- 一、開式
- 一、主催者挨拶
- 一、事業経緯説明
- 一、来賓祝辞
- 一、来賓紹介・祝電披露
- 一、意見発表
- 一、鏡開き
- 一、アトラクション(飯坂八幡神社祭り太鼓保存会・万世町梓山獅子踊り)
- 一、乾杯
- 一、万歳三唱
- 一、閉式

東北中央自動車道 (福島~米沢北)



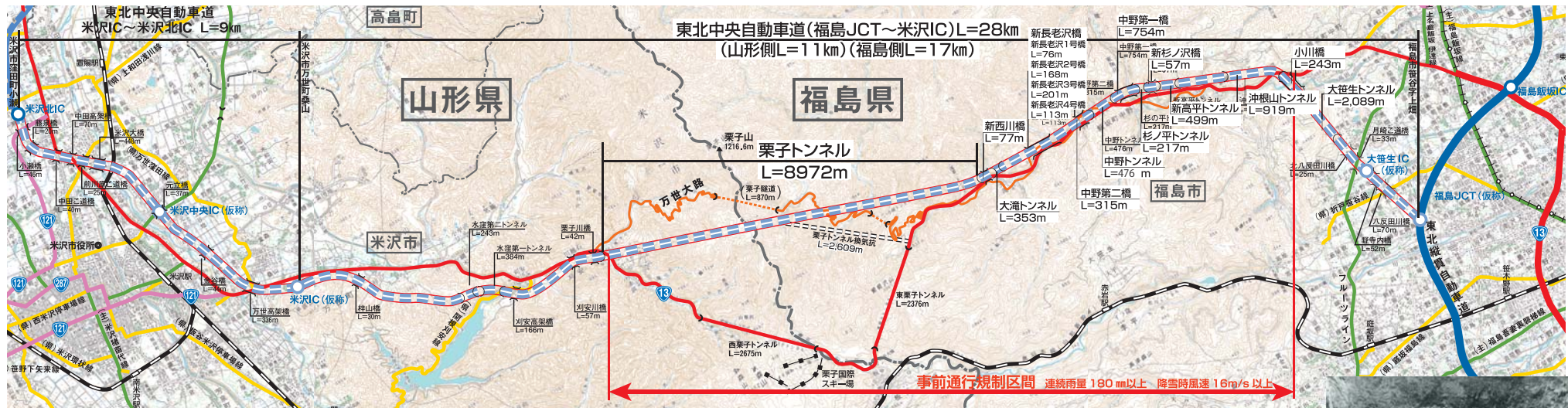
トンネル内の工事
切羽の様子



小川橋(243m)
張り出し工法



東北中央自動車道(福島~米沢北)(延長37km)は平成10年度に日本道路公団(現在、東日本高速道路株)が事業着手、平成15年度から国土交通省が工事を進めています。中でも栗子トンネルは「雪に強く信頼性の高い道路」にするため現在の国道13号より約190m低い位置を通過し、総延長は約9kmとなります。平成29年度の供用を予定しています。

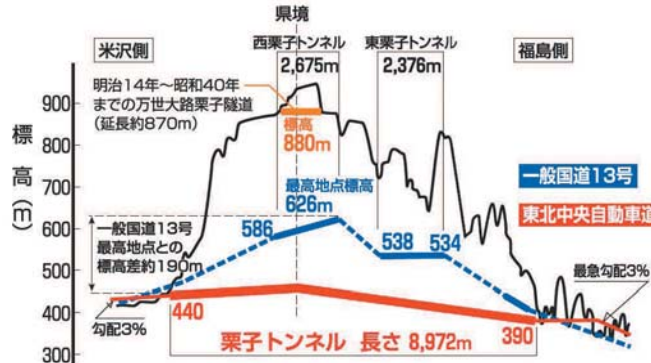


万世大路 ~萬世ノ永キニ渡リ人々ニ愛サレル道トナレ



第一世代(右)栗子山隧道
第二世代(左)栗子隧道

万世大路(明治天皇命名)とは、福島と米沢を結ぶ幹線道路のこと。現在の国道13号は第三世代。東北中央自動車道は第四世代にあたります。常にその時代の最新技術をもって建設されている。平成24年9月に土木学会の選奨土木遺産に認定されました。



- 第一世代 栗子山隧道(明治9年8月~明治14年9月)荷馬車のみ可。米国製最新鋭削岩機を投入して工事。
- 第二世代 栗子隧道(昭和8年4月~昭和12年3月)栗子山隧道870mのうち810mを活用し拡幅。自動車通行可能だが冬期5箇月は積雪のため通行不可。
- 第三世代 現在の栗子道路(昭和36年10月~昭和41年5月)
- 第四世代 東北中央自動車道



栗子隧道の工事
昭和9年頃



東西栗子トンネル掘工事
昭和41年5月29日